

会 議 録

- 1 会議の名称 第4回 富士川町総合計画審議会
- 2 会議日時 令和6年6月27日(木) 19時00分から19時40分まで
- 3 開催場所 富士川町役場 1階 101・102・103会議室
- 4 出席者数 (1)委員 総合計画審議会委員 出席19名 欠席6名
(2)執行機関 政策秘書課 5名
- 5 議題 (1)総合計画策定の取り組み状況について
(2)まちづくり地区懇談会(ワークショップ)の実施について
(3)関連団体アンケートの実施について
(4)その他
- 6 会議資料の名称 資料P1 次第 資料P2 審議会委員名簿
資料P3 第三次富士川町総合計画 策定スケジュール(案)
資料P4 まちづくり地区懇談会(ワークショップ) 日程表
資料P5－P7 第3回審議会 ワークショップ意見地図ほか
資料P8－P11 関連団体アンケート

7 発言の内容

(1)総合計画策定の取り組み状況について

【事務局】

資料P3 第三次富士川町総合計画 策定スケジュール(案) に基づき説明

【委員】

第二次の総合計画が令和7年度までということで、何をやったかというのをまとめて、反省を含めた総括をするというのはスケジュールの中ではどうなっているのでしょうか。

【事務局】

第二次総合計画で実施してきた内容につきましては、今現在、役場の各課で最終的にどこまで達成できたかという調査を行っているところであります。それをどのような形で次期計画に反映できたかということにつきましても、次回12月の審議会でお示しさせていただければと思います。

(2)まちづくり地区懇談会（ワークショップ）の実施について

【事務局】

資料P 4 まちづくり地区懇談会(ワークショップ) 日程表 及び

資料P 5－P 7 第3回審議会 ワークショップ意見地図ほか に基づき説明

【委員】

ワークショップに関して、時間が19時からというのは参加される方が限定されてしまっていて、若い方や女性の方は難しいのではないかと。時間を変えろと言うわけではなくて、例えば書面とかでご意見をいただけるような形で、区長さんたちのご協力を得ながらにはなりますが、いわゆる奥様方からの意見も書面などで募れば有効だと思いますがいかがでしょうか。

【事務局】

まちづくり地区懇談会の日程については、各地区の区長の皆さまに調整いただいて決まったという経過がございます。(ご指摘いただいた若い方や女性の方の他にも)それ以外では夜ということで高齢の方も公民館に行きづらいということもあるかと思います。五開区で実施するアンケートのような、何か書面でご意見がいただけるような方策は考えていきたいと思っています。ご意見ありがとうございます。

(3)関連団体アンケートの実施について

【事務局】

資料P 8－P 11 関連団体アンケートに基づき説明

【委員】

先ほどの地区懇談会の方の意見に関連する内容なのですが、このアンケートのQRコードを読み込ませていただきましたが、まさにこの方法で意見を募ることができるのではないのでしょうか。ワークショップのテーマに対して、QRコードを広報に掲載するなどして、若い人たちであれば携帯からこれを読めば個人の意見をいただけるのかなと、ご意見を申し上げます。

【事務局】

様々な年代の方の色々な意見が必要というのがこの総合計画ですので、色々な方法で意見が集められるよう考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

(4)その他

【委員】

3点、お伺いしたいことや意見がございます。

今回の資料の中で、3月26日の第3回審議会のワークショップのまとめ資料がありま

すが、私がその中で3つ意見を出しまして、貧困対策、通学路の安全対策、それから、まちづくり・町政への町民参加の促進、と項目を出したのですが、3つ目が資料の中にない。まとめる中で切れてしまったのかもしれないですが、ものすごく重要だと思うんですね。町民の役場への意見・お願い、そういうものを踏まえて役場と住民がいかに接しているか、そういうのが重要じゃないかというのが消えてしまっている。

次に、審議会の意見まとめや各地区の課題の中にありますけれども、組へ入る人が減っている。関連する本でちょっと調べてみましたけれども、2つの側面がありましてね。ひとつは、武家の封建時代や戦争の頃の軍部など、地域の住民をコントロールして言うことを聞かせる、そのための方法としての側面と、それからもうひとつはコミュニケーションと防災、助け合って楽しくやっていく、そういう2つの側面。すごく難しいですけれども、近所同士や行政から、色々なものを配ったり今は機能している。でも時代も変わって、こんなことはやりたくないという考えの人も増えている。「組へ入れ」とは簡単に言えないような難しい状況が背景にあって、地域の課題として挙がっている。これを、丸々突っ込んで議論する場があるのかなと。(地区懇談会で)地区の話聞く、事務局が素案を作る、これはよいのですが、中身に突っ込んで議論する場があるのかなと。

そういうことで、町政への町民参加の促進の意見の件と、重要な社会現象・町の課題にどう突っ込んでいくのか見えないなど。以上です。

【事務局】

1点目のご指摘でございましたワークショップの際のご意見につきましては、当日皆さまに(付箋を貼り付けて)作成いただいた意見地図を写真記録で残させていただいております。全ての付箋の一言一句が読める形で記録してございまして、今見させていただいたところ、付箋の中には、今おっしゃっていただいた意見が載っていない形でございまして、写真の中の付箋の枚数と資料の中で項目立てさせていただいた数は一致している状況でございます。また、その際、意見を書いた付箋は1人2枚、という形で集めさせていただいておりますので、そういったところではないかと思っております。前回審議会で付箋の枚数の関係で取り上げなかった意見につきましても、次回、課題解決編で是非出させていただきまして、そのときに、どうしたらよいかということを皆さままでしていただけたらと思います。前回出さなかったから駄目ということはありませんので、喫緊の課題のひとつでございしますから、そちらも含めてまた皆さまで話をできればと思っております。

また、人口減少や自治会のこれからといった話は、どこの区に行っても出る話であります。日本全国で問題になっているものですので、上手くいくというのは中々難しいところではあるのですが、計画の策定支援業務を委託している業者さんにつきましては、色々な先進事例やメニューを持っている業者さんですので、どうすれば解決できるのかといった政策的なことを盛り込んで、次回の課題解決編へ繋げたいと思います。各地区を回って、地域からはこう言った意見が出ましたという部分を見ていただくのと、それ以外、地区以外のものな

ども見ていただいて、こちらで話し合っていたきたいと思っておりますので、その際もまたよろしくお願いいたします。